



**今井 陽樹** (30)  
IMAI HINOKI

都道府県：群馬県

所属事業体名：多野東部森林組合

現場技術者としての経験年数：6年（「緑の雇用」研修生）

JLC出場経験：第1回JLC 総合得点1325点

**Q1. 林業に携わるようになったきっかけは？**

スノーボードが大好きでカナダに渡りました。夏のロッキー山脈を登っていた時に頂上から見た景色のあまりの美しさに心を奪われ、自然に関わる仕事に就こうと決意しました。

**Q2. チェーンソーマンの面白み、やりがいは？**

技術には、「これでいいか」という到達点がありません。いくらでも高めていける青天井の面白さがあります。そして、その技術で人の役に立ち喜んでもらえれば、こんなにもうれしいことはないと思います。

**Q3. 現場で行っている安全対策はありますか？（作業前、作業中など具体的にお願いします。）**

作業中は適切な防護具を身に付けるのはもちろんのこと、作業前にはKYミーティングを行い、班内でしっかりと意思疎通を図るよう努めています。

**Q4. 今まで現場で体験した危険なことはどんなことですか？**

切り捨て間伐中に横に倒した丸太の上を歩いていた時に、丸太が転がり転倒、チェーンソーで左手首を切りました。皮一枚で済んだのですが、チェーンブレーキを常に使用する必要性を再認識しました。

**Q5. JLCに出場しようと思った理由は何ですか？**

群馬県の技能競技会で2位だった惜しさから、さらなる技術の向上を目指し世界へ挑戦しようと思いました。『世界大会』そこには純粋なカッコ良さやワクワクがあったからです。

**Q6. JLC出場に向けての抱負をお聞かせください。（自身の持ち味、得意とすること等）**

日本一になって世界に行きたい。そう強く想っています。各国の選手との交流を通じて自身の感性を磨くと共にその経験を次代に伝えたい。JLCは私にとってワクワクする未来への切符です。

**Q7. 現場技術者（林業に携わる者）としての今後（将来）の目標はありますか？**

林業を若者のあこがれの仕事にしたい。世界大会はそのための重要な発信ツールになります。山で働くチェーンソーマンが自らの技術に誇りを持つことで、林業はもっと楽しくなる。競技者として林業の魅力を発信していきたいです。